



●太宰の部屋

小説「津軽」で作家太宰治が友人N君と過ごした部屋。当時の宴席の様子を再現している。室内には太宰関連の書籍や資料が展示されている。



●龍飛今昔写真ギャラリー

昭和40年代の龍飛周辺集落の写真が展示されている。当時の生活の様子や、風景などの懐かしさを感じる一角です。現在の風景と見比べてみるのも楽しみの一つです。



●志功の部屋

旧奥谷旅館を訪れた青森市出身の版画家棟方志功を紹介するコーナー。  
玄関ホールには志功が題字を書いた龍飛の看板も展示されている。



●ギャラリー

龍飛の厳しい自然を描いた画家高野元孝氏の「北の浜」や、当町出身の版画家福井平内氏が龍飛岬周辺を描いた作品が展示されている。



●俳優の部屋

龍飛岬でロケ等を行った映画やテレビドラマに出演した俳優のサイン色紙等を展示。



●旧奥谷旅館の紹介

旧奥谷旅館の昔の様子をご覧ください。宿泊人名簿には、旅館に宿泊した文人墨客の名が記帳されています。

龍飛岬観光案内所  
太宰治・棟方志功ゆかりの宿  
**龍飛館**



Tappi cape tourist information center "Tappikan"

## ■龍飛岬観光案内所（旧奥谷旅館）



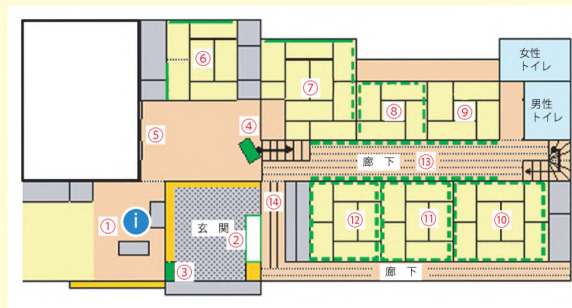
旧奥谷旅館と龍飛の集落（昭和25年）

●この施設は、旧「奥谷旅館」の持ち主の奥谷福太郎氏（青森市在住）、隣接する土地は三浦克治氏（龍飛在住）と蠣崎成徳氏（青森市在住）の特段のご配慮により無償譲渡されたものを町が、「龍飛岬観光案内所」として新たに開設したものです。

●奥谷旅館は、明治35年頃から平成11年までの歴史を閉じるまで、観光客はもとより、数多くの作家や画家が逗留した津軽半島最北端の旅館として知られております。昭和9年の宿帳には、津軽三味線の大家・高橋竹山（本県平内町）の名が筆頭に記されており（本名の高橋定蔵名義）、後年には、荻原井泉水（俳人）や太宰治（作家）・棟方志功（版画家）・佐藤忠良（彫刻家）・濱谷浩（写真家）等の名が記されています。

●こうした資料をはじめ、自筆の宿泊カードや当時の龍飛にまつわる記録資料のほか、多くの著名人がしたためた色紙や作品等を貴重な文化遺産として展示公開しております。また、作家太宰治が「津軽」執筆の折、親友N（中村貞次郎）君と投宿した部屋（復元）も公開しています。

## ■館内案内図



- ①総合案内  
館内案内・観光案内はこちらで承ります。
- ②観光パンフレット  
県内の観光情報はこちらで。
- ③物産情報  
町内のお土産品等をご紹介します。
- ④PRシアター  
映像で外ヶ浜町の魅力を紹介します。
- ⑤旧奥谷旅館紹介  
奥谷旅館のルーツや創業時の写真などが展示されています。
- ⑥ギャラリー  
高野元孝氏が龍飛を描いた「北の浜」等が展示されています。
- ⑦⑧龍飛今昔  
昭和40年代の龍飛岬周辺の暮らしの様子が写真で紹介されています。
- ⑨奥谷家一室  
奥谷家の皆さんの居住スペースが再現されています。
- ⑩太宰の部屋  
小説「津軽」で太宰治が友人N君と過ごした部屋を再現しています。
- ⑪志功の部屋  
旧奥谷旅館を訪れた青森市出身の版画家棟方志功を紹介するコーナーです。
- ⑫俳優の部屋  
龍飛岬でロケ等を行った映画やテレビドラマに出演した俳優のサイン色紙等を展示しています。
- ⑬昭和30年代の写真  
廊下には昔懐かしい写真を展示しています。
- ⑭棟方志功「龍飛」看板  
版画家棟方志功が題字を書いた看板を展示しています。

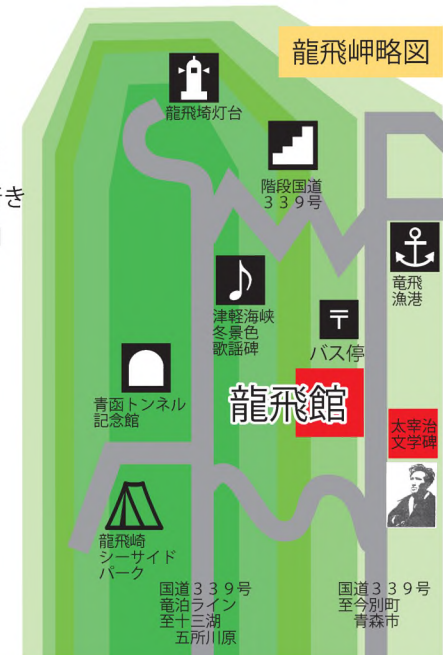
## ■ご利用のご案内

### 開館時間

時間 9:00～16:00（最終入館15:30）  
休館日 4月中旬～11月中旬まで休まず開館  
年末年始 / 冬期間は毎週水曜日休館

### アクセス

JR三厩駅より  
町営バス龍飛行き  
「龍飛岬郵便局」  
下車徒歩1分



### お車をご利用の方

- JR青森駅より車で約2時間
- 青森空港より車で約2時間30分
- 青森ICより車で約2時間
- JR蟹田駅より車で約1時間
- JR三厩駅より車で約25分

### ●お問い合わせ

龍飛岬観光案内所「龍飛館」  
〒030-1711  
青森県東津軽郡外ヶ浜町字三厩龍浜 59-12  
Tel.0174-31-8025（FAX兼用）  
メール tappikankou@gmail.com  
URL <http://ameblo.jp/tappikankou/>

津軽半島最北端  
龍飛岬

